



ヤドカリのオス、メスの見分け方はどうするの

殻から出して比べるとわかる

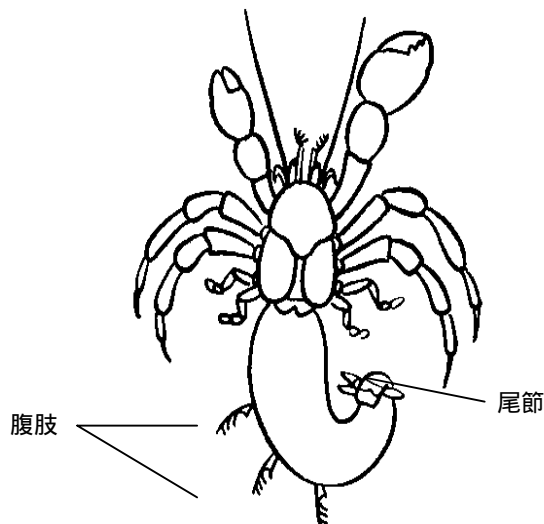
ヤドカリの、オスとメスの区別は、殻から出して、おなかの部分と比べるとわかります。ヤドカリのおなかの部分には、3～4本の腹肢とよばれる、小さい足のようなものがあります。オスは、貝殻の中で、おなかの部分を支えるぐらいしか腹肢の使い道がなく、腹肢は小さく目立ちません。メスは、卵をだくために使うので、この腹肢が大きく発達しています。この腹肢の数は、ヤドカリの種類によってちがってきます。

ヤドカリを殻から出す方法

ヤドカリは、体が大きくなるにしたがって、体の大きさにあった貝殻を探してひっこしします。このときは、殻から体を出します。しかし、ふつうは、おなかの先についた「尾節」とよばれる、ぎざぎざのある足のようなものを、巻き貝の殻のじくに巻きつけていて、体がぬけないようにしています。ですから、ヤドカリの体を引っぱって、殻を外そうとしてもできません。

ちょっとかわいそうですが、火の上のせたまなやきなどの上にヤドカリを置いてみましょう。熱くてたまらなくなると、殻から出てきます。観察したら、すぐ、水で冷やした、元の殻にもどしてやりましょう。

(監修・杉浦 宏)



ヤドカリのメス

